

補完代替医療 vs 統合医療

板橋中央総合病院血液浄化療法センター

阿岸鉄三

現代科学の立場から見ると、補完代替医療の中には、説明できない・理解できないものが含まれており、それらは、定義上、無意味・無価値である。しかし、だからといって補完代替医療のすべてが医療として無意味・無価値というわけではない。補完代替医療には、ときには、絶大な効果を示す医療奇跡と呼ばれるものが含まれていたりする。大多数の科学者は、タコ壺の中のタコと同じで、壺の外を見ようとはしない。井の中の蛙、大海を知らず。現代では、科学は、かつてのように絶対的な価値を持つものとは考えられないようになってきている。そこでは、科学的医療はone of themにすぎない。補完代替医療や科学的医療のみならず、医療上有用な手段・手技をすべて含むものを統合医療と定義することができる。現代では、すべてのものはネットワークを作りながらボーダーレスに広がり、緩やかな連携を保つとする思潮傾向が強い。PCのインターネットによって、その思考に馴らされている。宗教よりも、スピリチュアリティを優位とすることに、その典型を見る。統合医療とは、結び目に価値の上下がない、医療群の緩やかな連携ネットワークである。文化・文明の進歩は、分化と統合によって起こるが、統合に見られるのは、パラダイムシフトではなくてパラダイムエクспанションである。カエルが、1つの井戸から他の井戸に移動するのはパラダイムシフトであるが、大きな池に移動するのはパラダイムエクспанションである。統合医療は、医療のパラダイムエクспанションである。